



2026/8/7

インフラファンド発行者名
エネクス・インフラ投資法人
代表者名 執行役員 松塚 啓一
(コード番号 9286)

管理会社名
エネクス・アセットマネジメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 松塚 啓一
問合せ先 代表取締役専務兼財務経理部長
大下 進

保有資産に係る月次発電量実績及び出力制御に関するお知らせ（2026年7月）

エネクス・インフラ投資法人（以下「本投資法人」といいます。）が2026年7月末現在で保有する発電設備の2026年7月の発電量実績及び出力制御につき、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 月次発電量実績（第14期 2026年6月～2026年11月）

2026年11月期						
	物件数	設備容量 (kW)	発電量予測値 (kWh) (注1) (A)	発電量実績値 (kWh) (注2) (B)	差異 (kWh) (B)-(A)	CO ₂ 削減量 (kg-CO ₂) (注3)
2026年6月	12	243,490.20	23,796,000	20,545,502	-3,250,498	8,690,747
2026年7月	12	243,490.20	24,718,595	25,845,548	1,126,953	10,932,667
2026年8月						
2026年9月						
2026年10月						
2026年11月						
合計	—	—	48,514,595	46,391,050	-2,123,545	19,623,414

(注1) 「発電量予測値」とは、超過確率P（パーセンタイル）50の数値（50%の確率で達成可能と見込まれる数値を意味します。）としてテクニカルレポートの作成者その他の専門家によって算出された発電電力量をいいます。（以下、「発電量予測値（P50）」といいます。）なお、胎内風力発電所に関しましては、稼働率を調整の上算出しています。

(注2) 上記累計発電量は、一般家庭約5,252世帯が1年間に使用する電力量に相当します。
※1世帯平均3,911kWh／年を基に算出（令和5年度家庭部門のCO₂排出実態統計調査）

(注3) CO₂ 削減量は、各電力会社の調整後排出係数を基に算出したものです。
※環境省ホームページ参考：<https://www.env.go.jp/earth/ondanka/ghg/kateiCO2tokei.html>

2. 月次発電所別発電量実績

2026年7月						
	物件名称	設備容量 (kW)	発電量予測値 (kWh) (A)	発電量実績値 (kWh) (注4) (B)	差異 (kWh) (B) - (A)	CO ₂ 削減量 (kg-CO ₂)
S-01	高萩太陽光発電所	11,544.00	1,096,260	1,096,200	-60	463,693
S-02	千代田高原太陽光発電所	1,595.28	143,980	198,226	54,246	83,850
S-03	JEN防府太陽光発電所	1,940.64	217,126	263,004	45,878	111,251
S-04	JEN玖珠太陽光発電所	1,007.76	95,018	129,298	34,280	54,693
S-05	鉾田太陽光発電所	24,195.62	2,681,592	2,209,488	-472,104	934,613
S-06	長崎琴海太陽光発電所	2,661.12	301,588	290,686	-10,902	122,960
S-07	松阪太陽光発電所	98,003.40	10,155,742	11,907,952	1,752,210	5,037,064
S-08	新城太陽光発電所	1,540.00	150,123	181,414	31,291	76,738
S-09	紋別太陽光発電所 (注4)	15,704.64	1,697,769	1,572,696	-125,073	665,250
S-10	高崎太陽光発電所A (注4)	11,618.64	1,342,235	1,302,024	-40,211	550,756
S-11	高崎太陽光発電所B	53,679.10	6,167,537	5,812,500	-355,037	2,458,688
W-01	胎内風力発電所	20,000.00	669,625	882,060	212,435	373,111
	合計	243,490.20	24,718,595	25,845,548	1,126,953	10,932,667

・「発電量実績値」は、千代田高原、防府、紋別、胎内以外は電気事業者の検針票データを基に記載しています。

(注4) ・紋別では、1月13日に発生したシステムトラブルの影響で上限75%稼働を継続していましたが、修繕により7月21日に100%稼働まで回復しております。

・高崎Bでは、4月13日にパワコンの焼損事故が発生し安全を配慮し一旦すべてのパワコンを稼働停止としました。その上で全パワコンを点検し、結果、焼損したパワコン1台および追加点検が必要な1台の計2台を除き4月20日には再稼働しております。追加点検が必要な1台につきましては5月初旬のメーカー技術者の点検を受け7月17日に100%稼働まで回復しております。引き続き焼損したパワコン1台の早期復旧を進めます。

3. 出力制御の実施について

2026年7月において、本投資法人が保有する発電設備に対し、出力制御は実施されませんでした。

以上